



2013 年度 未踏 IT 人材発掘・育成事業 採択案件評価書

1. 担当 PM

藤井 彰人 PM
(KDDI 株式会社 サービス企画本部 クラウドサービス企画開発部長)

2. 採択者氏名

チーフクリエイター：原 綾香（津田塾大学 学芸学部 情報科学科）
コクリエイター：平田 淳（津田塾大学 学芸学部 情報科学科）

3. 委託金支払額

2,174,000 円

4. テーマ名

就業ログと逆求人を融合した就職支援システムの開発

5. 関連 Web サイト

<http://www.mirrorio.com/>

6. テーマ概要

アルバイトはほとんどの学生が学生時代に経験するものである。アルバイトは、学業のかたわらで生活を維持するための収入を得る目的と認識されがちで、社会に出て働く行為であるにも関わらず、それが就職の際のキャリアとして参考にされない場合がある。また、アルバイトの職種によっては、スマートフォンやコンピュータが普及している現状にも関わらず、シフト申請が紙媒体であったり、シフト調整が手作業であったり、業務連絡が口頭であったりと、非効率な場面も多い。

一方で今日、新卒採用における学生と企業のミスマッチが問題視されており、このミスマッチを防ぐため、そして優秀な人材を早期発見し採用するために、インターンシッププログラムを導入する企業が増えている。インターンシップは、学生である間に一定期間実業に携わることで業務について理解を深めることができ、学生・企業双方の理解度・満足度を格段に向上させ、ミスマッチ防止に有効とされている。

そこで本プロジェクトでは、アルバイト等の勤怠管理を効率化すると同時に、その勤怠履歴（就業ログ）から企業の採用担当者にとって有益な情報を含む「信頼できる」履歴書を生成し、それを逆求人サービスへと展開する就職支援システムを開発する。就業ログから信頼できる履歴書を生成することで、アルバイト等の就業経験がインターンシップに匹敵するキャリアとして企業から認識されるように、その価値を向上させる。そして、学生が自身のアルバイト経験を含むキャリアを企業側に提示するサービス、および企業がその情報から求人オファーをかけるためのサービスを開発する。

7. 採択理由

アルバイトやインターンといった就職前の就業実績は、就職や採用の際には重要な情報であるが、現在は履歴書での文字記載のみであり就職、採用の現場でこれらの情報が活用されているとは言いがたい。

本提案は、アルバイトの勤怠管理を通して、企業の採用側へ提案する就職/採用支援サービスであり、まさにこのギャップを埋めようとする提案である。加えて、就業形態が多様化するなか、フリーランスや委託業務など本サービスは学生向けだけではない活用シーンも考えられる。

クリエイターらは、自らのアイデアを具現化するために、コンテストに参加したりと新たなサービスの構築に非常に情熱を持って取り組んでいることにも注目したい。

ぜひ新しい視点で就職支援のためのサービスを開発してほしい。

8. 開発目標

本プロジェクトでは、就職活動でのミスマッチや、社会で働く女性のうち特にシステムエンジニアといった技術職に就く女性が少ない、という 2 点の課題を、開発するシステムによって解決することを目的とした。

9. 進捗概要

本プロジェクトで開発したプラットフォーム Mirrorio（ミラリオ）は、企業側を Web アプリケーション、学生側は iOS アプリケーションとして実装した。Mirrorio には大きく分けて以下の 3 つの機能がある。

1 つ目は、学生が早期から企業活動に参加出来る機会を提供するために、企業でのユーザテストやマーケティング調査に参加する学生を、本サービスで募集できる機能である。企業は Mirrorio を通して、図 1 のように学生に対してユーザテストやマーケティング調査といった募集をかけられる。また、学生側は、図 2 のように iOS アプリケーションから募集内容を見る事ができ、図 3 の画面から、企業に向けて自分の想いを自由に添えてエントリーすることが出来る。応募学生が定員を上回った場合、企業は学生のプロフィールや学生のエントリー時の文章を見て、図 4 で示すように選考することもできる。



図 1 企業側：イベント一覧画面



図 2 学生側：イベント詳細画面



図 3 学生側：イベント応募画面

女子大生向けアプリ「Mirrorio」を使って意見をくれる方を募集します！



図 4 企業側：参加希望者の選抜画面

2つ目は、学生側がイベントに参加してどのように感じたか、正直な気持ちを残すことができる機能である。図 5 のように、学生はイベントで感じたことを自由に残す事が出来る。そして、図 6 に示す過去に参加したイベント一覧画面から、今までに参加した企業の感想を閲覧する事ができる。就職活動時に自分の企業への興味がどのように変わっているかということを確認することで、就職活動時のミスマッチを解決できる。Mirrorio というサービス名は、この機能の自分を映す鏡のようなサービスになって欲しいという、クリエイターの想いからつけられている。



図 5 学生側：記録画面



図 6 学生側：過去に参加したイベント一覧画面

3つ目は、イベント後の評価・オフアー機能である。イベント終了後、企業は学生に対して、図 7 に示すように、どのような学生であったかといった評価を残すことができる。採用活動解禁後、企業は学生に対してオフアーをすることが出来る。



図 7 企業側：学生評価・オファー画面

10. プロジェクト評価

本プロジェクトは、クリエイター（女性 2 名）自身が就職活動時に感じた問題意識をもとに、企業と学生のミスマッチを解消するためのサービス提案である。ダイバーシティ経営や女性活躍推進が、これからの日本企業の経営において重要課題となっている現在、「女性がやりがいを感じる仕事を持ち、社会で働き続けることが出来る世界」の実現をビジョンとして掲げ、プロジェクトを推進したその目的意識は高く評価したい。

一方で、サービスの未踏性を追求するなかで、変化する就業形態や働く女性のあり方の多様さ、ライフステージの課題などを知り、逆に誰をターゲットにどのような価値を提供するべきかという重要な部分がなかなか定まらず、最終的にソフトウェアの実装期間を圧迫する結果となってしまった。

最終的には、女子学生と企業をつなぐサービスの開発をゴールに、現在の形式となっている。本サービスにおいて、女性らしい感性で UX をデザインし、新しい就業支援活動の形態を提案していることは評価したいものの、すぐにでも使える具体的なケースにまでたどり着けなかったことは残念である。

11. 今後の課題

本プラットフォームでは、学生用アプリケーションは iOS のみの対応となっているため、Android ネイティブアプリケーションの開発が課題として挙げられる。

本プロジェクトでは、大きなビジョンとして「女性がやりがいを感じる仕事を持ち、社会で働き続けることができる世界」を掲げている。本プロジェクトでは、女子大学生を対象としたプラットフォームの開発であったが、これをファーストステップとし、今後は本システム「Mirrorio」をクリエイター自身のライフステージと共にスケールさせて、行く行くはライフイベントを終えた女性の支援もできるシステムへと成長することが期待される。